

## 朝礼で活力あふれる職場をつくる

—朝礼は、職場の風通しをよくし、人間力をさらに向上させる大きな力を秘めています—

倫理法人会では、設立の当初から「朝礼」の持つ力に注目してきました。  
特に、企業が元気になるような朝礼を「活力朝礼」と称して、推進しています。

職場に精神的なバックボーンを築くために、

一人ひとりが生きがいをもって、朗らかに働けるように、

「活力朝礼」を取り入れてみませんか。

「いざ」という時、ふんばれる足腰は毎朝の習慣からつくられます。

## I 「活力朝礼」を導入する。

### —活力朝礼とは—

朝礼を単なる「連絡・報告の場」で終わらせず、「教育の場」としても活用し、  
企業を元気にする朝礼です。

「企業は人なり」といわれるように、そこで働く人の心が変わった時、その  
効果は絶大なものとなるのです。

〈爽やかな笑顔・元気で大きな声・美しい姿勢・機敏な動作〉が朝礼を活性化させます。

立場や経験によらず、気張りすぎず、まず「やってみる」ことが大切です。

### —朝礼の定義—

#### 1、朝礼は企業の縮図である

—企業の社風・会社の質などが朝礼にあらわれます。

#### 2、朝礼は教育の場である

—単なる連絡・報告の場で終わらせず、働く人々の人間性向上をはかる場として活か  
せば、毎日繰り返し行なうだけに大きな効果があります。

#### 3、朝礼は企業の心や意志を浸透させる場である

—社員がいきいきと働く企業では、企業理念や創業の精神を共通認識として持ってい  
ます。それは朝礼で浸透させているところが少なくありません。

## Ⅱ 「活力朝礼」の特色とポイント

### ①ウォーミングアップ

仕事に向かうための心と体の準備を整えます。

### ②情報の共有化と徹底

連絡・報告事項により互いの情報を共有します。

### ③自社の目的の確認

理念や社是・社訓は、朝礼という一定の形式に伴う場で、文字にして掲げられたり、声に出して斉唱される時、全社員の共通理念として定着し、精神的なバックボーンとなっていくのでしょうか。

### ④基本動作の習得

姿勢・挨拶・返事の実習を通して、基本動作の質的向上をめざします。

### ⑤チームワークの強化

『職場の教養』を用いて、段落ごとに輪読し、最後に短い感想を述べるという形を提案しています。経営者も社員も、共に参加する事で一体感が芽生え、調和すなわちチームワークが生まれます。

## Ⅲ 活力を高める5つの要素

### ① 調和

姿勢や所作を揃えることで全体の調和が生まれます。

### ② タイミング

間を引き締め、テンポよく進めることが、活力を高めます。

### ③ 集中

メリハリのある発声は、場の雰囲気を引き締めます。

リーダーは素早く移動します。

リーダーに対して全員が身体を向けます（正対）。

### ④ 洗練

基本の型に徹することです。

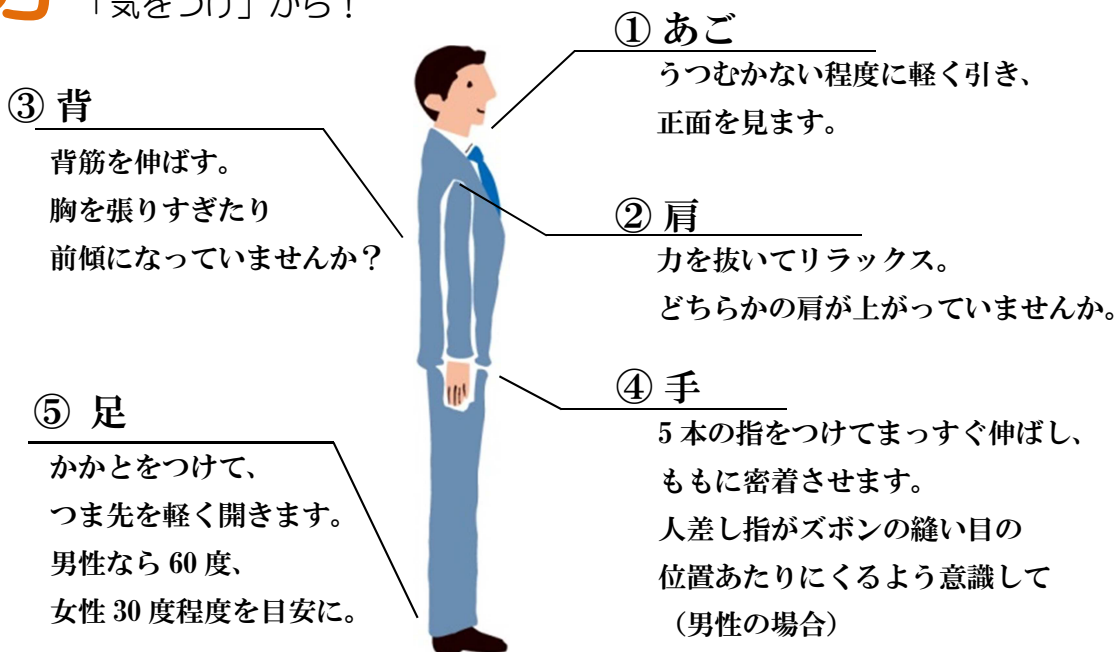
### ⑤ 独創

基本を体得した上で、それぞれの職場環境にあわせた朝礼を構築します。

(例えば、朝礼プロジェクトチームを社内で立ち上げるのも良い)

# IV 基本動作の習得

## 1 姿勢 すべての基本は「気をつけ」から！



## 2 挨拶 先手で、明るく、美しく！

### ①お辞儀と発声

1秒くらいでサッと下げる。  
お辞儀と同時に発声する。

### ②静止

1秒間しっかり静止する。  
女性は手を自然に前で合わせる。

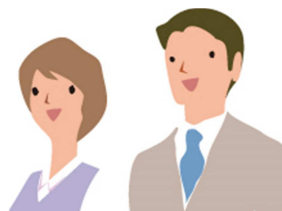
### ③元の姿勢に戻す

2秒くらいでゆっくり戻す。

視線はつま先ではなく、2~3メートル先を見る。  
首筋と背筋が一直線に揃っているときれいに見えます。

## 3 返事 打てば響く「ハイ」のひとつ！

間髪を入れない「ハイ」という元気な返事は、自分自身はもちろん、まわりの人の気持ちも明るくします。



# V 『職場の教養』の活用

- 【効用】①社会人としての教養が身につく。  
②輪読に参加することで積極性が養われ、感想を述べることでスピーチに慣れ、自信がつく。  
③人の感想を聞くことで、互いをよく知る一助となる。  
④参加者全員が一つのテーマについて考えることで、チームワークが向上する。

○/○ (月)

気の交流

毎朝の朝礼は社員一人ひとりの「気」を交流させる場です。参加者全員が喜びにあふれ、元気に行く努力を続けていけば、自然に明るく活気に満ちたムードがうまれることでしょう。▲

しかし現実には「朝礼をする時間があつたら仕事をさせて」など、朝礼のあり方に疑問をもっている人も少なくないようです。★

朝礼そのものが生産性を上げるわけではありません。けれども朝礼によって社員全員が心一つにしてスタートダッシュするのと、そうでないのとは結果において大きな差があるはずです。★

朝礼運営の第一段階は、活力あるムードの出やすい「基本の型」を作ることですが、それが定着したら、参加者がアイデアを出し合って、その職場、職場でのオリジナルな朝礼を工夫していくことが大切です。■

そのためにもトップの経営理念を実現し、活力あふれる朝礼を作るためには、何が必要なのかを、一人ひとりが常に考えていこうではありませんか。

今日の心がけ ◆活力あふれる朝礼を創造しましょう。

リーダーの進め方

①「〇ページをお開きください」と案内する。

【全員の準備ができたなら】

②「(日付)タイトル」と「(第一段落)」をゆっくり大きな声で読む。

③▲で「ハイ」と区切り、

二段落目を別の人に読んでもらう。

④★で「ハイ」と区切り

段落ごとに読み手を交代する。

⑤■で「ハイ、ありがとうございます」と

と区切り、

「(最終段落)」はリーダーが読む。

【一呼吸おいて】

⑥「感想を述べます」と言って感想を述べる。  
感想を述べ終わったら

「感想を終わります」と言って締めくくる。

⑦「今日の心がけを斉唱いたしましょう」

【間を空けず、力を込めて】

⑧「今日の心がけ！」

【全員で「今日の心がけ」を斉唱する】